



葉山町

議会だより

148号 令和4年4月28日発行



- 令和4年度予算 … 2
- 第1回定例会報告 … 8
- 委員会レポート … 10
- 特集 クリーンセンター再整備 … 13
- 一般質問は12人が登壇 … 14



葉山町議会 検索

写真：葉山小学校入学式
※表紙説明は裏面にあります。

暮らしを守る

クリーンセンター再整備
4億 8226 万円

新クリーンセンター再整備工事
(令和4年度～6年度)



消防団運営・活動
2549 万円

年額報酬増額(班長・団員) 他

新出動報酬増額(災害時)

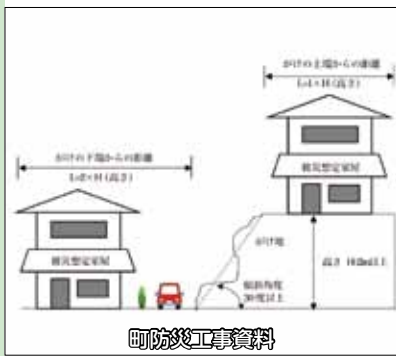


消防団の活動の様子

防災対策強化
1140 万円

危険木伐採工事費等助成金 他

新がけ地防災対策工事費等補助金



耐震工率資料

住宅耐震推進
428 万円

ブロック塀等撤去補助金 他

新木造沿道建築物耐震
診断業務委託



耐震相談パンフレット

活力を創造する

公園管理
2794 万円

公園フェンス改修工事 他

新公園遊具設置・撤去工事



インクルーシブ遊具イメージ

※誰でも使える遊具

街路整備
3351 万円

向原森戸線用地購入費
(令和2年～令和5年) 他

新向原森戸線測量・
実施設計業務委託



向原森戸線整備箇所

令和4年度

事業の 目玉

主な新規・拡充事業を掲載
しています。(千円以下四捨五入)

町全体の予算総額

一般会計	113 億 1000 万円
特別会計	76 億 907 万円
国民健康保険	34 億 3444 万円
後期高齢者医療	11 億 3481 万円
介護保険	30 億 3983 万円
下水道事業会計	23 億 6707 万円
計	212 億 8614 万円

みんな で つくる

町制記念誌発行
100 万円

町制施行 100 周年記念誌
発行事業



町制施行 90 周年記念誌

人を育てる

令和4年度予算

小・中学校施設管理

2億5891万円

新建物躯体・リノベーション調査業務委託 他

新 上山口小学校給食室
改修工事



上山口小学校給食室

新 葉山中学校
トイレ改修工事



中学校トイレ

新 南郷中学校屋内運動場
屋上防水改修工事



南郷中学校体育館

中学校部活動支援

1602万円

新 部活動備品(楽器等)
整備・消耗品購入 他



吹奏楽部演奏の様子

中学校給食施設運営

3936万円

新 中学校給食調理・
配送業務委託 他



中学校給食受け室
改修場所

スポーツ振興・推進

872万円

ヨットスクール事業補助金 他

新 葉山町総合型地域
スポーツクラブ支援助成金



案内パンフレット

母子保健

1994万円

新 ナイトケア(産後ケア) 他

新 多胎妊婦健康診査



双子の赤ちゃん

新 SVS
(多角的屈折検査機器)



検査のイメージ

教育・保育給付支給

8億7246万円

幼児教育・保育無償化助成金 他

新 幼稚園類似施設利用料
補助金



外で遊ぶ子どもたち

第四次葉山町総合計画に基づき編集しています。

7人が質問しました



人を育てる

未来に繋げる教育施策の推進

石岡 就任から1年が経過し、葉山町における教育現場の実状が見えた頃だと思うが、何か感じるものや想う事は。

教育長 しっかりとした9カ年を見通して行う小中一貫教育を軸に、コミュニティスクール、GIGAスクール構想の利活用、総合型地域スポーツクラブとの融合など横断的かつ丁寧に進めていきたい。

窪田 小中一貫教育を進める上で、南郷中学区の問題は。

教育長 課題と捉えている。

学びを支える学校環境の整備

土佐 中学校給食が暫定で上山口小学校の親子方式で令和5年度4月に開始される。他3校の小学校の給食室の老朽化が心配だが、大丈夫なのか。

教育部長 課題と認識している。暫定期間中に検討する。

鈴木 葉山中学校トイレ改修はドライ方式で憩える場のよくな形を目指して欲しいが。

教育部長 現状のできる範囲での形で改修する。



葉山中学校トイレ

人権と平和の尊重

土佐 ホエールアーティストとのコラボで、イルカやクジラをモチーフにした婚姻届や婚姻証明を発行するが、パートナーシップ制度の証明は。

町長 葉山町でパートナーとなられる方が全員対象だ。



あらたひとむ氏デザインボトル (ホエールアーティスト)

子ども・子育て支援の充実

飯山 幼保無償化で類似施設が補助対象になる。既に認可を受けている施設と同等の審査基準を維持すべきでは。

福祉部長 町の審査を経て県へ届出し認可される。現地確認等により、指導もできる。

土佐 3歳児健診のSVS導入で運用の仕組みづくりは。

福祉部長 関連医師から指導を仰ぎ、しっかりと取り組む。

鈴木 SVSで検査も重要だが、教育現場での留意が必要では。

教育長 保護者と一緒に子どもたちに考えさせていきたい。

窪田 産後ケア事業拡充が費用負担軽減になっていないが。

福祉部長 夜間授乳や夜泣き、夜間に特化した利用で費用面を考えられる選択肢が増えた。

暮らしを守る

健康づくりの支援・推進

土佐 健診継続受診での運動チケットプレゼントを、人間ドックにも拡大しては。

福祉部長 柔軟な対応を行う。



チケットプレゼントのお知らせ

地域医療体制の充実

近藤 国民健康保険特別会計では、保険料の値上げを抑えるため例年の一般会計からの繰り入れを7千万円から1億円へと増額したことは評価するが、まだ数%の値上げが予定されている。これを抑える予定は。

福祉部長 数千万円必要となる。加入者負担とした。

窪田 その他一般会計繰入金金の1億円を評価するが、結果、国保料引き下げに繋がるのか。

福祉部長 繰入金を増額しても、数%の値上げ前提の予算策定となった。

高齢者福祉の充実

窪田 新規・拡充事業に高齢者福祉の観点が見えない。高齢者福祉充実へ町長の考えは。

町長 扶助費の増額を重く受け止め、現政策を維持した。

循環型社会の形成

土佐 生ごみ収集の方式や処理方式は。袋で出さなければ破袋機も必要なのでは。

環境部長 葉山らしき、葉山の地域性を検討していきたい。

鈴木 ごみ収集など、決定はいつか。3年後稼働予定だが。

環境部長 令和6年度説明会の前までには確定したい。

窪田 貸し生ごみ処理機を用意し、体験してもらっては。

環境部長 実証実験の中で意見を聞きながら進めていく。



電動生ごみ処理機

地球温暖化対策の推進

近藤 町長の施政方針では「環境重視」の記述はあるが、太陽光などの自然エネルギーの町施設への設置について触れていない。「地球温暖化対策実行計画」は逗子市の計画と比較して大幅に遅れている。計画の見直しは。

環境部長 策定する予定だ。

消防・救急体制の確立

鈴木 消防団員減少で幼年防災クラブ設置はどうか。
消防長 考えている。



葉山町消防団

災害に強いまちづくりの推進

石岡 コロナの影響で、自治会ごとの防災力に格差が生じているように見受けられるが。
総務部長 地域の方と膝を交え議論した上で、各種訓練等に取り組んでいくしかない。

各種相談体制の確立

石岡 コロナの影響による町内での生活困窮者や業績が悪化している事業者数の把握は。
政策財政部長 敏感にアンテナを立てつつ、相談事業や社協等との情報共有をしていく。

活力を創造する

魅力ある公園の創出

鈴木 インクルーシブ遊具はどこに設置か。
都市経済部長 一色公園だ。



一色公園

荒井 南郷上ノ山公園の一部を貸し出した東京電力鉄塔工事の使用料での歳入は、どの

ように令和4年度予算に反映されているのか。

町長 予算の使い道については南郷上ノ山公園で使うことは皆さんと共通認識で、内部でいろいろな議論を行い、目に見える形できれいにする方向でトイレを整備することを決定した。今、設計を起こし工事に入る準備をしている。

公共交通の環境整備

窪田 交通弱者に公共交通政策が重要だ。交通計画策定は。
政策財政部長 第五次総合計画と整合性を図り策定する。

みんなでつくる

石岡 令和4年度のテーマは。
町長 引き続きオンラインも含めた「対話」とし、しっかりと政治を貫いていきたい。

協働によるまちづくり

鈴木 3年後に町制施行100周年だが、次の100年へ向けて考えるべきだがどうか。

町長 まず振り返る事が大切だ。行政や自然の歴史誌の要望もある。子どもたちの声をしっかり入れていきたい。

健全な財政運営の維持

飯山 給食センターは形を変えた。中期財政計画が大きく変わるが、数値が大幅に上振れすることはないか。

政策財政部長 大きな上振れは現行では予測していない。

飯山 給食センターの代替措置は4500万円くらいでできるのか。

教育部長 小学校給食室改修、2中学校荷受け改修分も含めた金額。他小学校給食室老朽化対策までは含まれない。

荒井 今までの森林環境税は、みどり基金に積まれているが、令和4年度予算380万円の使い道は。

政策財政部長 貴重な財源と認識している。令和4年度予算では、危険木の伐採補助に100万円を充当し、今後は、所管との連携をしながら町にとって有効活用できるか協議している最中だ。



電線にかかる木

近藤 湘南国際村の町道を約1億円かけ3年計画で整備する予定だが、以前話題にした同地域に都市計画税を課税することは進んでいるのか。

町長 税ということではなく、町道整備をカンフル剤として地域の企業に協力を求めたい。



国際村の町道

公共施設の有効かつ適切な管理

飯山 施設再編や複合化など、枠組みが認識できれば中期財政計画は再改定すべきでは。
政策財政部長 状況を見ながら令和4年度中には出していきたい。

予算特別委員会審査

石岡実成委員長、金崎ひさ副委員長、中村和雄、伊藤航平、荒井直彦、近藤昇一、伊東圭介の各委員が審査をし、最終日には町長・教育長質問を行いました。



予算特別委員会の動画

町長・教育長質問

議場昇降機の撤去

問 福祉のまちづくりと逆行するのではないのか。

町長 昇降機の保守点検が令和4年10月以降困難であり、過去に使用事例がないこと、大変高額な装置であることから撤去の判断をした。環境を整え、利用者のニーズに最大限応えられるよう努める。

機構改革（空家等対策推進事業、公園管理）

問 機構改革から9年経過したが、今後は。

町長 今は問題点の抽出をし、今後の課題とする。

地球温暖化対策に対する考え

問 行政を点検し、総合的視点からより進めるべきでは。

町長 経費の問題があるが、最少コストは求めながら必要経費はかけていく。強気で進めている。

南郷上ノ山公園における再整備（安全対策）

問 グラウンド整備を、スピードをあげてやってほしいが。

町長 課題であることは認識しているが、莫大な経費がかかることから、公園全体の在り方を教育委員会と都市部と連携して、十分に慎重に議論する必要がある。改善に向けて、急ぎ努力をしていく。

町制施行100周年事業の考え

問 事業の考えを伺う。

町長 90周年をベースにして、増す形で検討していく。

問 検討委員会などの設置が必要ではないか。

町長 検討委員会、実行委員会など必要となる。今後、議論していく。



南郷上ノ山グラウンドの状況

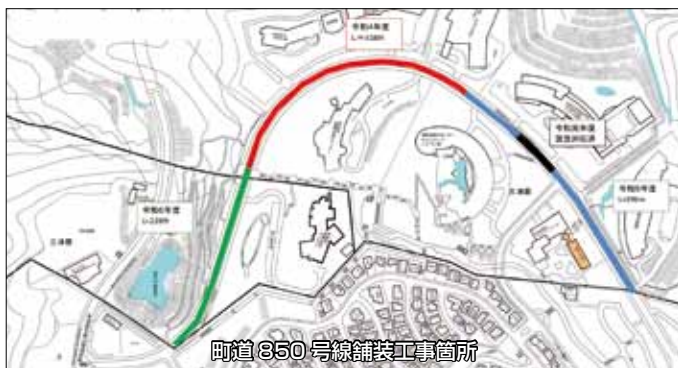
町道850号線（国際村）の整備

問 3年間かけ約1億円で整備することだが、都市計画税も課されていない市街化調整区域だ。補助金など、研究所に要請する考えは。

町長 コロナ禍もあり、業者は施設の保持さえもが困難になっているとのことだ。

問 都市計画税の課税をするべきではないか。

町長 税の法的観点から難しい。寄付の要請をしていく。



町道850号線舗装工事箇所

問 今後の課題として、国際村の地区計画の見直しは。

町長 地区計画の改定も含め、葉山らしい穏やかな空間もある国際村の活性を目指したい。

各種団体への負担金のあり方

問 再加入した港湾協会の負担金について伺う。

町長 各種イベントを含め、恩恵を受けていることを考慮し決めた。

問 県の環境協会を脱退したのはなぜか。

予算特別委員会から町への 指摘・要望・意見事項

- ・有料施設である南郷上ノ山公園への適切な安全対策
- ・議場昇降機の代替え設備の検討
- ・町制 100 周年事業は町民及び議会との連携
- ・企業版ふるさと納税の広い周知
- ・投票環境向上の取り組みとして共通投票所の設置
- ・町道 991 号線の改良工事の予算化
- ・逗子市と桜山古墳トイレ整備の早急な調整
- ・各種団体の負担金において基準を明確に

審査結果

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び下水道事業会計は全会一致で、後期高齢者医療特別会計は賛成多数で可決しました。

町長 多くの自治体が未加入であり、特段支障もないことを確認し決定した。

問 負担金・補助金については、基準を明確にすべきでは。

町長 公平性の観点から大切な視点だ。課題として担当課にも伝える。

町立図書館のあり方(職員配置)

問 専属の図書館長の配置は。

教育長 申し入れをしている。

問 町の考え方はどうか。

町長 人事配置上達成すべき項目として、検討組上にあげ、努力していく。

本会議における令和4年度の予算審議

近藤昇一、金崎ひさ、土佐洋子、中村和雄、鈴木道子の各議員が討論を行いました。

主な討論

賛成

一般会計

- 議会傍聴席への車いす昇降機撤去に代替設備の設置へ検討を
- 庁舎施設の新増設・改修時に、再生可能エネルギー設備の導入を
- 産後ケア、妊産婦健診の多胎児への補助拡充された
- 消防団員の処遇改善された
- 生ごみ分別に関して、きちんと行なってほしい
- ふるさと納税での町税流出額が1億3700万円という事のアピールを
- 中学校給食での小学校給食調理室利用にあたり住民への説明会開催を
- 町内初の精神障がい者のグループホームができるが、町も協力を
- 障がい者支援施設「葉山はばたき」は指定管理者制度を外れるが、移行への配慮を

国民健康保険特別会計

- 保険料の負担軽減が行われた

後期高齢者医療特別会計

- 国の施策であり、事業内容に問題はなく進んでいる

介護保険特別会計

- 看護小規模多機能型居宅介護事業所への整備が盛り込まれている

下水道事業会計

- 面整備の目途も立ち、接続率の向上を
- 10年概成のアクションプランが順調に進んでいるが、私道部分の敷設も積極的に進行為
- 逗子市との共同化等、議会へ状況の報告を

反対

後期高齢者医療特別会計

- 10月からの窓口負担2倍化は中止されるべき

第1回臨時会
1月12日開催



令和3年度一般会計補正予算(第7号)

歳出

新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 (838万円)

ワクチン接種において、高齢者の利便性を図るため、町が設置する集団接種会場等への無料送迎バスを運行する。

主な質疑

問 2回目の接種以降、送迎バス等を考えていないと答弁

第1回例会
第1回例会

2月10日から3月17日まで開催し、令和4年度予算、令和3年度補正予算、条例や陳情等の審議を行いました。

令和3年度一般会計補正予算(第8号)

(9億5729万円)

歳入

・消費費国庫負担金(42万円)

令和3年7月静岡県熱海市土石流災害への緊急消防援助隊の派遣経費

があり「議会だより147号」に載せてしまったが対応は。

答 ワクチン接種が前倒しとなり変更した。町ホームページ、「広報葉山」で丁寧に伝えていく。また、安心安全ガイドを発行する。

問 タクシー券補助事業は国費の対象ではないのか。

答 タクシーは山間部等の過疎地のみが対象となる。

問 今後の職員体制は。

答 ぎりぎりなので、新たな職員の募集、採用に取り組み。

問 12歳以下の接種の対応は。

答 医療機関での接種を準備している。

・教育費国庫補助金(396万円)

新型コロナウイルス感染症対策経費

・「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」に係る事業実施金(435万円)

令和3年度から事業実施しており、それに伴う歳入

歳出

コロナ禍によって事業を中止したところによる減額(主な事業)

・議員視察等 (△140万円)

・花火大会 (△1400万円)

・ビッグレスキューかながわ (△103万円)

・東京2020大会準備事業 (△1354万円)

・草津町親善交流事業 (△177万円)

・海水浴場開設事業(△299万円)

臨御橋架け替えプロジェクト推進事業 (△2247万円)

新型コロナウイルス感染症対策として各校に空気循環器を購入 (594万円)

主な質疑

問 避難所にもなる体育館なのでエアコンを設置しては。

答 国の補助金に限度額がありエアコンにはいたらなかった。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 (3億6926万円)

新型コロナウイルス対策、令和3年1月以降の家計急変世帯も含む

主な質疑

問 家計急変世帯の把握と申請および周知方法は。

答 個別事情になるので3月広報に概要を掲載する。

給付金のこと

令和3年度の住民税非課税世帯などに10万円を支給します。

対象

【住民税非課税世帯】

令和3年12月10日の時点で、世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯

※対象と思われる世帯には、既に確認書を送付しています。

【家計急変世帯】

令和3年1月以降、新型コロナウイルス

企画調整事業 (273万円)

旧役場前バス停上屋建設に係る資材価格高騰に伴う増額

主な質疑

問 令和3年10月28日の随意契約なので価格高騰は見込まれていたのでないか。

答 令和3年12月が高騰のピークであろうと協議し、補正予算を確定した。

問 その根拠は。

答 木材は140万円が259万円に、銅板は180万円が280万円になった。

問 この上屋の総額は。

答 1650万円だ。内訳は県からの土地売却収入が1571万円、一般財源から約80万円となる。



旧役場前バス停

認可保育所等補助金(234万円)

保育士等への賃上げによる処遇改善事業を実施している民間保育所等に対しての補助金交付

主な質疑

問 公立保育園の保育士の処遇改善は。

答 公務員なので賃金を上乘

せする状況ではない。

問 国からの通達では公立の施設や事業所も対象となっている。また、9月までの時限措置となっているが。

答 10月以降も引き続き維持できるように考えている。

住宅リフォーム資金助成事業 (125万円)

主な質疑

問 申請件数は。

答 すでに88件あり、今後に備え増額をした。

問 助成を受けた工事総額は。

答 1億円だ。

問 補助金が7万円から一律5万円に変更した。元に戻さないか。

答 現在は考えていない。

問 1回しか使えないというシステムの変更は。

答 所有者が変わればリフォーム対象となる。

令和3年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

介護・予防サービス事業 (2961万円)

主な質疑

問 伸び率の差異の要因は。

答 町外施設の利用など、さまざまな要因が考えられる。

令和3年度下水道事業会計補正予算(第2号)

建設改良費 (3億4291万円)

主な質疑

問 新築家屋に対する接続率向上の見込みは。

答 PRに励む。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

未就学児に係る保険料の均等割額の軽減措置の導入

主な質疑

問 年齢を18歳まで引き上げる考えは。

答 検討を重ねる。

問 対象者数は。

答 210人と試算している。

真名瀬駐車場条例の一部を改正する条例

駐車場使用料の改正

主な質疑

問 7、8月は入庫後の無料時間を設定していないが。

答 混む時期なので、渋滞を招くおそれがあるため。

問 児童館への送迎のための利用者が有料というのは、かえって道路への駐車が増え、渋滞を招くのではないか。

答 状況をみて検討する。

問 塩害による機器の更新は。リースなので塩害対策を明記している。

消防団条例の一部を改正する条例

消防団の報酬等の引き上げ

問 災害出動以外は据え置きだが、なぜか。

答 本団と協議のうえ、3千円のままとした。

問 本団と協議とは、正副分団長を含めた役員全体での協議なのか。

答 話として伝えてある。

クリーンセンター再整備工事請負契約の締結 (15億8400万円)

主な質疑

問 生ごみ処理施設の屋根は膜材だが、その耐用年数は。

答 10〜15年だ。

問 1者だけのプロポーザル

で比較できない。白紙に戻す選択はなかったのか。

答 1者だから中止するとう考えはなかった。

問 他者は金額が合わず辞退した。後々に増額されることはないのか。

答 契約変更となった場合はきつちりと積算根拠を示す。

問 生ごみ処理施設の臭いが近隣住民に被害を与えた場合、脱臭装置の瑕疵にあたるのか。

答 性能発注をしているので瑕疵にあたる。

問 生ごみ処理容器普及については。

答 普及率は40%だ。なるべく自家処理をしてほしい。

問 自家処理の推進と人口減なども加味し、生ごみ処理量をきちんと精査すべきだが。

答 日量10tは組成分析の数値から算定をした。

問 生ごみを燃やすより、資源化した方が安価なのか。

答 可燃ごみの処理単価は4万円/t。生ごみ処理施設単価は2万円/tだ。

賛成討論



・計画は尊重すべきだが、生ごみ資源化施設の規模と収集

体制はさらに調査と議論を重ね、慎重に進めるよう求める。

令和3年度一般会計補正予算(第9号) (118万円)

返葉地域医療センター一次救急診療室空調設備が1月下旬に不具合が発生したことによる工事負担金

非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和及び育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置の義務化を図るための改正

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和及び育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置の義務化を図るための改正

問 妊娠、出産以外「その他これに準ずる事実」とは。

答 養子縁組等により、養育する状況になった場合などだ。



「イクメンプロジェクト」ポスター

皆さまから寄せられた**請願・陳情**の審査

委員会レポート

町の問題・課題の改善、対策を議論します。

総務建設

陳情「働きかけ記録」の制度制定の検討

最近の報道で自治体の意思決定が外部からの働きかけにより歪められ、政治不信を招いていると報じられており、葉山町においても、公平、平等な意思決定なのか疑いをもたれたとき、その検証ができるよう「働きかけ記録」の制度制定を議会と町部局が協力して検討するよう求めているものです。

審査結果

提出された資料を精査したうえで「働きかけをしていない」ということを明確にする観点からも記録を残すことは大切であり、制度制定に向けた検討は必要である」との意見でまとまり、全会一致で採択

しました。

所管事務調査

まちづくり条例について

これまで現行の町づくり条例の内容を把握するため、町側の考え方などを担当課職員にヒアリングしたり、数年前に住民団体が作成した「まちづくり条例等改正の提案について」の資料を各委員に配信し、それぞれ問題点や課題等抽出する作業を行ってきました。

令和4年度は、担当課職員と条例の内容を精査する勉強会を開催し、より良い「まちづくり条例」となるように委員会として一定の結論を出したいと思っています。

委員長 石岡実成



乱開発が懸念される下山口海岸エリア (提供: Google)

教育民生

学校給食費の管理に関する条例

小中学校における学校給食費の公会計化を図るため、提案されたものです。

内容としては、学校給食における保護者の権利、義務に関する事項及び学校給食費の徴収管理等について規定するものです。

附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

学校給食運営会議を新たに設置する必要があるため提案

されたものです。

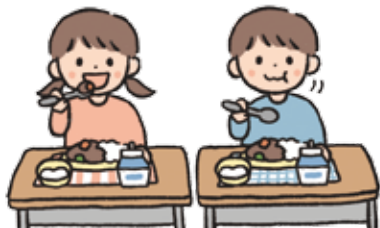
委員の数を10人以内とし、報酬額を月額2千円と規定しています。

審査結果

両条例は関連しているため一括審査を行いました。

「各学校が行っていた業務を一本化することは、教職員の負担軽減と業務の効率化につながる」「徴収に関して福祉課との連携等がより進む」「欠席の場合の取り扱いなど、家庭の負担にならない形を探って欲しい」「中学校完全給食の開始や将来の学校給食センターに向け公会計化は必要なものであり、それに伴う学校給食運営会議を附属機関として位置付けることは妥当である」との意見でまとまり、両議案とも、全会一致により可決しました。

委員長 荒井直彦



議会広報

議会改革

町民参加と公聴会の充実

コロナ禍においてもZoomによるリモートの意見交換会を実施し、2回目も実施予定なので、前進しています。

議会報告会

コロナ禍が落ち着けば実施し、そうでなくてもリモートで実施するよう努めていきます。

議会だよりの編集の外部委託

全部委託や書き直しだけ委託等のおおよその見積もりは示されましたが、より細かく具体的な内容を詰めた上で、業者と打ち合わせ、見積もりを出してもらおうこととしました。

議会だよりのページ数の増

ページ数が重要なのではなく、より読者に伝わりやすいコンテンツに近づけることを考えるべきとの結論で、現状のままとしました。

FMラジオで町議会の番組を持つ

町に確認したところ、ビーチFMでの現放送は、町のPR事業として行っていることから、議会が利用することは

適当ではないことが判明しました。議会独自で番組枠を取ることは、費用対効果で合わないため、提出者より取り下げとなりました。

フェイスブック、ツイッター、ラインなどの活用

SNSツールは若い人たちのコミュニケーションには有効であるものの、誰が情報を更新するのか、どうコミュニケーションを取るかの問題があり、以前も検討して見送った経緯があります。

また他自治体でのSNSでは、フォロワー数がなかなか伸びておらず、あまり効果が出ていないことが報告されました。より見やすい情報提供について、現在のホームページも含め、今後もSNSの活用方法を研究していきます。

本会議場の音響機器の改善

令和4年度の当初予算に計上されたため、検討を終了しました。

定例会の町民への周知について

1階のモニターでの議会中継

町民の方から、音声なしでは意味がないとの指摘があ

り、いったん中継を中止していただきました。町の業務の妨げにならないよう、無音で放映していたのですが、担当部局に確認したところ、本来は町のPR用モニターであること、電源コード等が移動に対応していないことから、音声を流せる位置まで移動できないことが判明したため、中継を再開しないこととしました。

定例会の開催案内チラシ

費用対効果が指摘されていましたが、費用は1回3500円程度であること、掲示板と回覧板による周知で一定の認知はされるものとして、継続することとしました。

委員長 飯山直樹

議会運営

コロナ感染防止対策

神奈川県にまん延防止等重点措置が発令されたため、令和4年第1回定例会では、委員会傍聴は同室では行わないこととし、執行部側の入室者は5人までとしました。

本会議場での一般傍聴は先着5人までに制限しました。

議会改革

オンライン委員会の開催

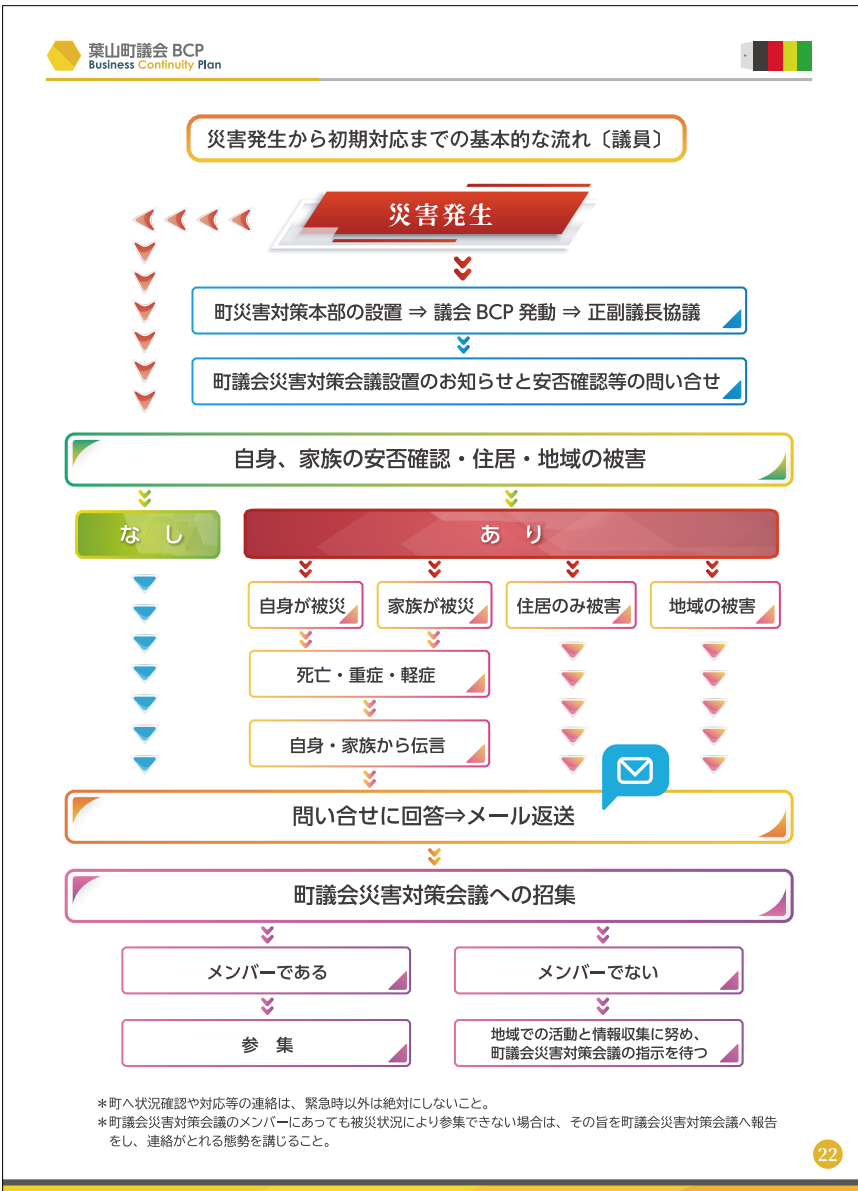
コロナ等で議員が委員会への出席ができなくなった場合を想定し、今後の検討課題とすることになりました。条例の変更等を行う必要性が想定されます。

委員長 金崎ひさ

議会対策BCIP

災害発生時に議会の機能と権能を堅持するため、災害発生が予見される段階から、初動活動期、応急活動期、復旧活動期における行動基準を災害別に分かりやすくまとめました。

リーダー 土佐洋子



*町へ状況確認や対応等の連絡は、緊急時以外は絶対に行わないこと。
*町議会災害対策会議のメンバーにあっても被災状況により参集できない場合は、その旨を町議会災害対策会議へ報告をし、連絡がとれる態勢を講じること。

災害時フローチャート

第1回臨時会 表決結果

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第1号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第7号)	可決	P8

第1回定例会 表決結果

議案	議員氏名(議席順)	飯山直樹	中村和雄	伊藤航平	山田由美	石岡美成	金崎ひさ	鈴木道子	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	窪田美樹	近藤昇一	伊東圭介	待寺真司	結果	関連記事
議案第7号	令和4年度葉山町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	P7
議案第8号	令和4年度葉山町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	P7
議案第9号	令和4年度葉山町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	可決	P7
議案第10号	令和4年度葉山町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	P7
議案第11号	令和4年度葉山町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	P7
議案第17号	工事請負契約の締結について (葉山町クリーンセンター再整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	P9
議会議案 第4-2号	ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	-	可決	P12

○は賛成 ×は反対 ◎は提出者
 ※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議

武力によるロシアの攻撃はウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認できない。厳しく非難するとともに、即時の攻撃停止と完全撤退を強く求める。また政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会と連携し、制裁措置を含む迅速かつ厳格な対応を行うよう強く求める。

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第2号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第8号)	可決	P8
議案第3号	令和3年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	-
議案第4号	令和3年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第5号	令和3年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	P9
議案第6号	令和3年度葉山町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	P9
議案第12号	葉山町学校給食費の管理に関する条例	可決	P10
議案第13号	葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	P10
議案第14号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	P9
議案第15号	葉山町真名瀬駐車場条例の一部を改正する条例	可決	P9
議案第16号	葉山町消防団条例の一部を改正する条例	可決	P9
議案第18号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第9号)	可決	P9
議案第19号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	P9
議案第20号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第21号	葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第22号	教育委員会委員の任命について	同意	-
議案第23号	葉山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	P9
議会議案第4-1号	葉山町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	-
陳情第3-21号	陳情「働きかけ記録」の制度制定の検討	採択	P10

クリーンセンター再整備

背景

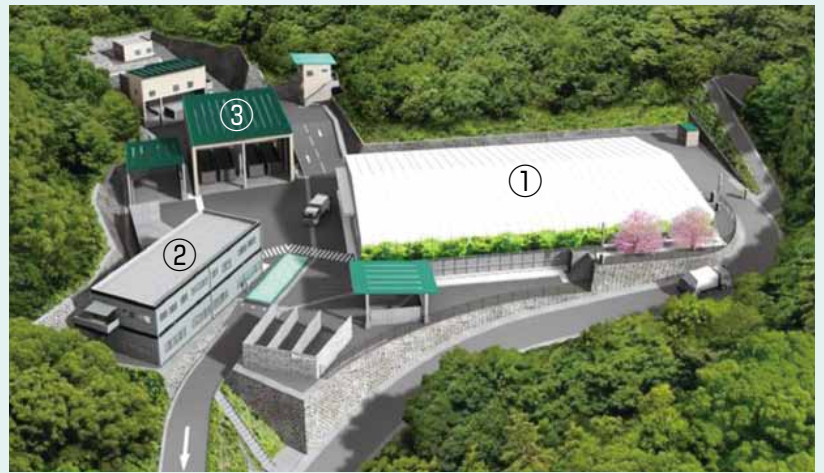
昭和52年に建設された現施設の老朽化が著しく、作業員等の安全確保の観点とごみ処理広域化が推奨されたことで、逗子市・鎌倉市との2市1町による広域連携が協議され、町は施設を再整備する必要が

あります。また広域化により、ごみの減量化と資源化も推進されます。

広域連携では当町がし尿・浄化槽汚泥、および生ごみ処理を行い、逗子市が燃やすごみと容器包装プラスチック処理を行います。

再整備施設の概要

再整備工事はまず既存施設である、し尿処理とごみ焼却施設を解体します。その後、生ごみ資源化処理施設、管理棟、サテライトセンター等を新設します。



①生ごみ資源化処理施設 ②管理棟 ③サテライトセンター

再整備スケジュール

令和3年度に、業者を選定後（選定済み）、令和4年度から3年間の工事期間を経て、令和7年に供用を開始する予定で進められます。

議員懇談会での説明

再整備事業の実施に際し、議員懇談会で詳細な説明を受けました。概要は次の通りです。

■プロポーザル評価委員会

最優秀提案者（共和化工（株））を決定した経緯の説明がありました。受注者以外の事業者が辞退し、1者のみでの審査が行われたため、比較検討や優位性の評価について懸念する声がありました。

提案価格は14億円です。多数の生ごみ資源化施設の運用実績や資源循環型社会への企業としての取り組みなどが評価されました。

■事業計画

工事の全体計画から実施体制、施工計画や環境配慮型の事業実施、動線計画や生ごみ資源化処理施設の運用について詳細な説明を受けました。

施設	予定規模等	処理方式等
生ごみ資源化処理施設	1,152㎡ 10 t/日	堆肥化方式 (屋内式)
サテライトセンター	243㎡ 19 t/日	ダンプ方式 (屋内式)
管理棟	355㎡	—

主な新設施設

■設備等

生ごみ資源化は「超高温好気性発酵システム」を採用します。また資源化施設はシンプルな構造となっており、重機による作業環境に配慮しています。臭気対策は、これまでの経験を基に薬液による脱臭装置を設置して万全を期す計画となっています。

■今後の課題

生ごみの収集方法や破袋機の導入によるコスト面や環境面での懸念、また逗子市との協議の進捗状況確認などが課題です。

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで臨みました!!



質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると
議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。
また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会 検索

伊東圭介

町道不動橋・入線の
安全対策は



町長
状況を注視し、安全対策を
検討する

問 令和4年3月21日に本町山中有料道路が30年間の料金徴収期間が満了し、無料開放されることから、町道不動橋・入線の通過交通量が増加することが予想される。安全対策が必要ではないか。
町長 現況の幅員は、概ね4m以上はあるが歩道が設置できる道路幅員は確保されていない。状況を注視して、必要に応じて路面標示、防護用ポールやガードレールの設置等の安全対策を検討し、葉山警察署とも協議していく。

葉山町総合型地域スポーツクラブ

問 葉山町体育協会が設立に向けて準備を進めているが、町の支援は。
教育長 「葉山町スポーツ推進計画」に、総合型地域スポーツクラブ創設支援を主な取り組み

土佐洋子

プラスチック資源
循環の促進は



環境部長
取り組んでいきたい

問 ※スポGOMIがアニメ化された。皆さまに知ってもらうため、町で上映できないか。
※ごみ拾いをスポーツにしたもの
町長 公開できるように、取り組みたい。
問 テイクアウト容器を削減する、リユース容器シェアリングサービスができないか。
環境部長 情報を聞き、検討したい。
問 使用済みペットボトルを100%再利用する、ボトルt0ボトルの取り組みは。
環境部長 町で処理をしているペットボトルの商品価値が高いので、検討したい。
問 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行される。町の対応は。
環境部長 協定を結んでいるTBM社とリサイクルに向けた取り組みをしていきたい。

町政を問う



一般



一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。



無料化された本町山中有料道路

問 今後の事業推進の方針は。
町長 「経営の効率化・健全化のための施策・具体的取り組み」について検討していく。令和4、5年の2カ年で※コンセッション事業と広域化・共同化事業の可能性調査を国の支援を受けながら同時に実施する。
 ※公共施設の運営権を民間に託す方式

葉山町下水道事業経営戦略

問 自立や継続するための方策は。
教育長 スポーツ振興くじ助成終了後、事業継続が困難となる総合型地域スポーツクラブがあることは認識している。魅力あるプログラムを継続的に提供し、多くの会員の確保が重要である。また、文部科学省が示した「学校の部活動の段階的な地域移行」を担うことも、新たな財源として考えられる。

みとして位置付けていることから、事務作業やイベント時の手伝いなど積極的に支援している。令和4年度予算にスポーツ振興くじ助成金と併せて、120万円の補助金を計上した。



アニメ化される「スポ GOMI」

問 令和3年度内の花火大会を検討したが、やむをえず断念した。夏に向けて実施したい。
問 近隣自治体には設置されている海岸の足洗い場が、葉山町だけない状態だが。
都市経済部長 非常に管理が難しく設置は難しいが、研究する必要がある。

行政改革、窓口の課題

問 ※DXを進めて、より高度な行政サービスを町民の皆さまに提供してほしいが。
 ※デジタルによる変革

政策財政部長 早期にDX推進計画を進め、庁内横断的な推進体制を構築したい。申請書

ごとに基本情報を記載し、複数の窓口を回らなければならぬ。今後、例えばオンライン申請システムの導入などのDX推進により、課題の解決を図れるように取り組んでいく。

福祉部長 令和5年度を目標に、戸籍関係の謄本や除籍などの証明が、どこでも自治体でも取れるように取り組んでいく。

観光施策

問 令和4年度の花火大会実施は。

町長 令和3年度内の花火大会を検討したが、やむをえず断念した。夏に向けて実施したい。

問 近隣自治体には設置されている海岸の足洗い場が、葉山町だけない状態だが。

都市経済部長 非常に管理が難しく設置は難しいが、研究する必要がある。

石岡実成

環境に配慮した
ツール選びが必要では



都市経済部長

素材自体、環境に負荷のないものを選定していきたい

環境にやさしいまちづくり

問 町で使用しているプラスチック素材、特に海岸及び付近で使用するツールに関しては、マイクロプラスチック問題からも環境に配慮した素材に変えていく必要があるのでは。

都市経済部長 海岸付近で使用する物に関しては、塩害対策など難しい部分も多々あるが、今後は、素材自体を新しい環境に負荷のない物にしていくつもりだ。

問 学校教育現場で使用しているプラスチックツール、例えばアサガオ栽培の鉢は、鎌倉市では見直す意向も出ている。葉山も環境に配慮した素材選びを検討するべきでは。

教育長 現状の教材は本当にプラスチック製が多い。その中で、葉山を発信地として、一

鈴木道子

「生理的貧困」対策の
情報発信と周知を



福祉部長

社協と連携し、検討する

町民への情報周知策

問 緊急時や災害時などの情報周知策として、「やさしい日本語講座」の活用状況を伺う。
政策財政部長 国際交流協会に委託した。引き続き実施する。職員対象の研修も行う。小学校入学時の手引き作成なども予定している。

問 「手話言語条例」の制定をすべきでは。友好都市の那須町は制定している。
町長 他団体の動向を参考にし、検討する。

教育現場の諸課題

問 ヤングケアラーも含めた相談事は、初期段階での対処をすべきだが、どうか。
教育長 早めの声かけを徹底させていく。

問 中学生通学時のリュックが10kg以上あり、重く、体調に悪影響をきたす状況があるが。

荒井直彦

南郷上ノ山公園前に
バス停を設置できないか



政策財政部長

地域公共交通会議の中で
京浜急行に話す

南郷上ノ山公園活性化

問 南郷上ノ山公園の入り口前は降車場だけにして、乗車場は、現在のバス待機場に設置できないか。
政策財政部長 バスの乗り入れ等に関しては町役場だけで決定できるような内容ではないので、提案された内容は、地域公共交通会議の中で、京浜急行に話す機会を設ける。

問 バス待機場の土地所有者は。
政策財政部長 葉山町の土地である。

問 バスの待機場の横に不法投棄のものがあ
る。そこを南郷上ノ山公園前の乗車場にすれば、人が入ることになり、少しは今より、きれいになり、改善するのでは。
政策財政部長 そのことも含め、地域公共交

一つのプラスチックの在り方を考え直すという時期だと思う。SDGsを含め、しっかりとした形で取り組めるように投げかけてみる。

問 真の地球温暖化に取り組むには、環境基本計画策定だけでなく、より具体的な目標数値や施策、ロードマップを組み入れた「脱炭素化に向けたシナリオ」作成が必要では。

環境部長 令和5年度までに地球温暖化対策実行計画を策定する必要がある、その中で、分かりやすいシナリオを作り込んでいけたらと思う。とても参考になった。

学校での新型コロナウイルス対策

問 子どものマスク着用について、さまざまな意見が出てきているようだが対応は。

教育部長 認識はしているが、うまく情報として伝えられていない反省もある。どうやって対応していくべきか今後の課題だ。

その他の質問 子どものワクチン接種での差別的な環境、消防団員減少対策



環境に配慮したツール選び

教育長 適切にどんな形で通うのがいいのか、学校側と話し合っていく。

問 時間割が決まっていないで、生徒に前日に示される学校があるそうだが、どうか。

教育長 学校に指導していく。

「生理の貧困」対策

問 コロナ禍の生活困窮状況の家庭で生理用品が十分に購入できないことが、問題視され、対応策を提案したが、現状はどうか。

町長 災害用備蓄在庫の生理用品を小中学校や社会福祉協議会に分配し、活用している。

問 長柄小学校の「学校だより」に記載されているのを目にしたが、他では見えない。情報発信・周知をしっかりとすべきだがどうか。

福祉部長 社会福祉協議会と連携し検討する。

新型コロナウイルス感染症拡大状況

問 子どものワクチン接種状況について伺う。

町長 5歳から11歳向けに、ファイザー小児用ワクチンを、3医療機関で接種する。



中学生の重い通学リュック

通会議の中で議会から意見が出ていることも伝える。

問 南郷上ノ山公園内の自動販売は、飲み物しかない。そろそろ誰かが声を上げて、食べ物提供を試みては。

都市経済部長 商工会にキッチンカーのイベントを開催するとか、アイデアを持っている方々がいるので十分検討したい。

町制100周年

問 町制100周年に向けて、南郷上ノ山公園をどのようにしていくのか。

町長 教育委員会と都市経済部とで南郷上ノ山公園のあり方について、指摘も含め、しばし時間をいただいで、これまで議論が散らばってきたので今後は、どのような方策で臨むべきか方向性をしっかりと決めていきたい。



南郷上ノ山公園バス待機場

窪田美樹

軽・中等度難聴に
補聴器購入助成を



福祉部長

他自治体の状況等、
検討を重ねていく

問 加齢性難聴に補聴器購入助成が必要では。
福祉部長 障害者手帳取得により補助が受けられる。他自治体の状況等検討を重ねていく。
問 日常生活に支障を感じる軽・中等度難聴は対象ではない。認知症予防からも補助を。
町長 聴覚障害の基準は難しく前に進めない。生活に合わせて、京急ふれあいバス購入助成を利用しない方へタクシー券補助を。
町長 交通問題にはいろいろなアプローチがある。葉山の地形もあり課題と認識している。

テイクアウト容器ごみ削減の取り組み
問 再利用できる容器のシェアリングサービスが鎌倉で始まった。テイクアウト容器ごみ削減のため、町も取り組めるよう補助等を。
環境部長 情報を得ながら検討をすすめたい。

金崎ひさ

公園は用途別に
整備すべきだが



都市経済部長

62カ所を見直し、
用途別に再配置

公園整備計画
問 公園整備計画を4年度中に策定予定だが、62カ所を用途別に整備すべきと思うが。
都市経済部長 用途別に見直し再配置する。
問 まずは防災公園を各地区に造り、かまどベンチと防災倉庫のみを設置すれば、そこで近隣の方たちの防災訓練も可能になるが。
総務部長 防災的観点から空地は貴重である。遊具のある公園を設定し、遊具の買い換えには必ずインクルーシブ遊具にすべきだが。
町長 基本的にはこの遊具が設置のベースだ。プレーパーク設置の提案をしたい。自然のままの公園で自分の責任で自由に遊べる空間だ。創造しながら楽しむことができるが。
町長 公園再整備の一つの観点として、ぜひ

伊藤航平

消防広域化は



町長

環境の変化に対応し、
消防体制の強化に取り組む

問 消防職員の人員確保や人材のレベル、異動、技術技能の向上、職場環境の改善等、三浦半島での消防広域化の検討は。
消防長 広域化する方向ではない。
町長 環境の変化に対応し、消防体制の強化に取り組む。
問 大河ドラマが始まり、葉山町としての三浦半島一帯で見た観光政策はあるか。
町長 テレビ放映で人が集まる、その点だけでは、葉山町としては踏み込めない。大河ドラマではなく、葉山町として胸を張れるものが提供できたらと考える。
問 観光政策として、三浦半島で統一したいイベントや共催の取り組みとしては。
町長 三浦半島観光連絡協議会により、観光

町長 事業者の協力を得て、環境貢献する事業者を推奨していく仕組み作りを実現したい。

通学路の安全確保

問 安全点検の状況をホームページ等で公表すれば、危険箇所の情報共有に繋がるのでは。
教育部長 指摘を受け、検討したい。

問 電柱の民地移設をお願いし、安全確保を。
都市経済部長 機会ある度、お願いしている。

土砂災害への防災対策

問 がけ地防災対策工事補助制度では、がけ地所有者の合意が得られなければ防災工事に結びつかない。被災想定家屋宅地内への擁壁等の防災工事を補助対象とする拡充を。
総務部長 検討の余地はあるが、現制度の助

成状況を見極め、新制度が必要か検討する。
問 防災工事は高額となる。補助金を町が直接事業者を支払う代理受領制度で負担軽減を。

総務部長 町民の負担軽減に有益と考える。課題や導入できるか等、運用で考えたい。



葉山町防災工事資料

鎌倉市防災工事資料

入れていきたい。

問 中学生議会から提案があったスケートボード公園は町民の要望が多いが、その設置は。
町長 場所の確保をぜひ進めていきたい。

生ごみ分別

問 収集体制の見直しはせず、分別・保管・出し方など家庭の課題を確認することが生ごみ分別収集実証実験の目的とのことだが、それなら、まずは町内在住の町職員に協力してもらい、意見を聴取したらいかがか。
町長 可能だと思う。

問 生ごみ分別により1億円削減の根拠は。
環境部長 燃やすごみのうち、生ごみの資源化による経費の差を1億円と試算している。

問 生ごみを包んで出す袋はプラごみとなり、その処理費が高むはずだ。また、プラごみゼロ宣言をしている町長に罪悪感はないのか。生分解性袋の使用で破袋機も必要なくなるが。
町長 罪悪感はある。今、袋について検討中だ。



浜谷区にあるプレーパーク

連携を図っている。

問 一次産業の、葉山町を含めた三浦半島のブランド化・発信連携は。
町長 農業は、三浦横須賀地区農業委員会連合会により連携を図り、水産業は漁業組合が構成する連合会や協議会により連携を図る。

問 ごみ処理の今後10年20年先の見通しと、三浦半島での広域化の取り組みの考え方は。
町長 ごみ処理技術の進展、ごみの減量・資源化の状況や社会状況の変化に適切に対応する。広域のスケールメリットを活かした処理

方法の調査研究をしていく。
問 ごみ・下水道・消防の広域化は、コスト面のメリットデメリットだけではない地球規模の環境面でも自治体が考えていく課題だが。

町長 地方自治とは自治体が福祉、公衆衛生、社会保障などに専念するのが当然。グローバルな視点で将来を考えていける環境があることに感謝する。



葉山町浄化センター

山田由美

図書館の花壇の世話を
町民有志に



町長

有志の方に
つないでいただきたい

町立図書館と学校図書室

問 図書館を憩いの場と考え、花壇の世話を町民有志にお願いしてはどうか。

町長 そういう有志の方がいらしたら、つないでいただきたい。

問 図書館と学校図書室の連携について、検討の状況は。図書館に寄贈された本を、学校へ回すこともできるのではないか。

教育部長 今後、連携が密になるように努めていく。

防災対策

問 災害時には中学生の力を地域に役立ててほしいが、町内会などの話し合いは。

総務部長 重要な観点だと思うが、地元との話し合いは十分にはできていない。

飯山直樹

小中一貫校の学区は
選択可能にできるか



教育部長

課題として認識し、
検討する

問 令和7年開設目標で小中一貫校構想が動き出した。希望により長柄小を選択可能とするなどの学区対応はどうか。

教育部長 課題として認識し、検討する。

問 基金を上限・下限の経験則で判断せず、割当を明確にした透明性のある管理をすべきでは。

政策財政部長 その通り。公共公益施設整備基金については、将来にわたって長期的に計画的な年次計画を持って運用が求められる。

問 公共施設財政は平準化の戦略的な管理が課題。緊急性の観点で長寿命化対応し、早期に全体像を決めて真の平準化を数値化すべきでは。

政策財政部長

* FM会議ではそうした考えの

近藤昇一

議場昇降機の廃止は
再検討すべきでは



町長

費用対効果も考え検討する

問 議場傍聴席への昇降機の撤去は「バリアフリー新法」や「神奈川県みんなのバリアフリーまちづくり条例」の目的に反するもので、予算特別委員会からも「代替設備設置の検討」との要望をしている。町の対応は。

総務部長 古くて部品の提供がなく、保守点検ができなくなったため、撤去の予算を組んだ。議会の要望を受け、傍聴席に至る段差解消のための選択肢の一つとして検討したい。

町長 誰でも自由に移動できる状態を作らなければいけないとは思わない。費用対効果も考え、代替する案でも十分達成できる。

問 地方自治の本旨は住民福祉の増進で、費用対効果で福祉施策を論じるべきではないが。

町長 費用対効果の言葉は不適切だった。

問 小中学生向けのイベントとして、学校の校庭を利用したキャンプはどうか。キャンプ慣れた町民が増えれば、防災対策になる。

総務部長 町の防災訓練でも、宿泊体験を取り入れた。サバイバル的な活動の知識を持つていれば、差が出てくると思う。

町長 町も声かけする時、この切り口で取り組んでいきたい。

問 遺贈寄付制度を利用するなどして、町民に土地の寄付をお願いし、防災用の空地として確保しておけないか。

総務部長 ご意見として承る。

生ごみ処理

問 地球環境のため、生ごみは自家処理が理想だ。町民に試してもらうため、公園等に試験的に公共キエーロを設置してはどうか。

環境部長 検討したが、管理が難しいので見送った経緯がある。キエーロ販売の際に、実演はできると思う。



町立図書館の花壇

もとに議論しており、将来にわたり無理のない財政運営を実現するよう進めたい。

※公共施設のあり方検討会

問 一次産業に特化した産業創出・育成について最終目標とする姿は。

町長 農地大規模化等の困難面から、業として活性化するのは難しいと感じている。衰退させず、暮らしとリンクすることが目標。

問 マーケティングだけでは産業化には結びつかない。儲かるビジネスにするための斬新なアイデアを外部から募り、自治体はバックアップに徹するベンチャー創出の仕組みが不可欠ではないか。

町長 既存のあり方も守りながら、そうした提案・情報を得て、支援できることであれば力を入れていきたい。

問 民間等との連携プロジェクトでは数字への落とし込みが必要。財政の見地での目標は。 **政策財政部長** 財政的に全て自前ではできない。サービスは維持し導入を検討したい。



長柄小学校・南郷中学校

町営住宅

問 町営住宅で、緊急修繕のために足場を組む際に、徹底的な劣化診断を行うべきでは。

福祉部長 塗装工事の中で不具合が見つかるようであれば、改めて検討したい。

問 町営住宅の給湯器は設置も修繕も住民負担となっているが、時代遅れではないか。

町長 風呂釜給湯器も個人交換することになっていくが、規則を精査したい。

問 国からの「入居時に保証人を求めない」通知に、約3割の自治体に対応しているが。 **福祉部長** 今後検討したい。

保健所設置

問 鎌倉保健所葉山支所が廃止され、葉山町保健センターとなったが、常駐の職員がいない状態が続いている。コロナ禍で医療が逼迫している状況から、県に葉山・逗子地域に保健所設置を要求すべきでは。

町長 機能強化の要望を検討したい。



議場昇降機

中村和雄



地球温暖化を どう受けとめているか

町長 温暖化抑止の 覚悟を持って臨む

地球温暖化

問 地球温暖化への対応は手遅れではないかと思っている。町長はどう認識しているか。

町長 先日、気温が5度上がった場合の、人類崩壊のアメリカのテレビ番組を見た。温暖化抑止の覚悟を持たなければと思った。

強靱なまちづくり

問 これから、いつ何が起るかわからない。葉山が活気ある町であり続けるために、できるだけ地域で回る経済にする必要があるが。

町長 地形上不利だが、商工会も努力している。これからも産業支援をしていきたい。

問 食糧確保が難しい時代が来ると思っている。葉山らしい農業の形をつくらないか。

都市経済部長 農業委員会も問題意識を持つ

議員研修会

3月23日に開催。講師には、ハンセン病により苦難の道を歩まれてきましたが、現在はさまざまな福祉活動に従事され、令和3年度に川崎市から「川崎市社会功労賞」を受賞された、石山春平氏をお招きし、ハンセン病による差別問題についての講義を受けました。

石山氏は小学校6年生の時にハンセン病と診断され、詳しい説明も受けないまま「もう学校には来るな」と担任から告げられて、その後使用していた机や椅子が燃やされているのを目撃し、衝撃を受けたとのこと。そして、自宅の納屋での生活が長く続き、友達や家族との交流もままならず4年が過ぎました。

16歳の時に御殿場市にあるハンセン病療養所「神山復生病院」に入所しました。著書である「ボンちゃんは82歳元気だよ！」を拝読した際に、胸が締め付けられるシーンがありました。父親から「もう



研修会講師



研修会の様子

二度と家に戻ることはいきなり、家の表門から出ていきなさい」と言われた石山青年が、迎えにきた看護師から優しく抱きしめられた時に、これまで心の中のために続けていた感情が、涙となってとめどなくあふれ出したシーンです。身体を触られることや話すこともほとんどなかった当時の心の傷は深かったと察します。

療養所で、妻となる絹子さんと出会い、家族の反対を押し切って結婚を決意し二人三脚で歩んだ道のりを伺いました。32歳で療養所を退所し、川崎市に居を構え、自動車運転免許の取得のエピソードや、3人の子宝に恵まれて、多くの罹患者が成しえなかった社会復帰を果たされ、差別のない社会の実現に向け、学校での講演活動や障がい者のガイ

ドヘルパーの仕事に長年従事。また、国による強制隔離政策に対する熊本地裁の原告団勝訴以降は、より積極的にハンセン病患者やその家族に寄り添って、差別撲滅に向けた活動に傾注されてきました。他人には、差別を受けている方々の心中を察することは決してできないと思いますが、直接当事者の生の声を伺うことができ、少しは講師の心の中に近づけたと感じました。



質疑応答では、お父さまとの関係についての問いかけに、家族を連れて故郷に戻った際の感動のエピソードなど、差別にわたる実体験の話と、差別のない人権を守る社会の実現に向けた石山氏の活動に、心から敬意を表して惜しみのない拍手が聴講者から贈られました。

議長 待寺真司

て検討している。葉山で農業をやりたいという相談もある。職員も力を入れている。十分検討していきたい。

問 町民の町内での消費を支援し、町を活性化する視点から地域公共交通の検討を。

政策財政部長 地域公共交通会議では、町の実情をつぶさに把握しようとしている。買い物、コミュニティ活動も含めた形で計画ができればいいと思っている。

問 災害時には避難所として使える、町の象徴となるような多機能な拠点施設を、町制100周年を記念してつくりたいか。

町長 公共施設等保有・保全の方針も踏まえつつ、100周年の方針が出せるよう努めていきたい。

町民相談事業

問 「広報葉山」に生活困窮の相談がないが。
福祉部長 生活困窮相談の案内を4月号に向けて計画している。



「はやま気候非常事態宣言」抜粋

意見交換会

葉山町社会福祉協議会と「社会福祉協議会の存在意義と専門性」をテーマとして、リモートで意見交換会を行いました。



Zoomによる意見交換会

コロナ禍における社協活動

長引くコロナ禍で収入が減少し、生活福祉資金貸付制度の利用が急増していることなどが報告されました。全国的にフリーランスへの影響が大きく、当町には個人事業主が多いため、申請の半数程度を占めているとのこと。問い合わせは町にくることが多いものの、申請窓口が県であるため手続きに時間がかかることがあるようです。また、無料で食材をお届けするコロナ禍生活食料応援プロジェクトを実施し、困難に直面する方々

への支援を実施するなど、コロナ禍で急変する事態への対処について説明がありました。

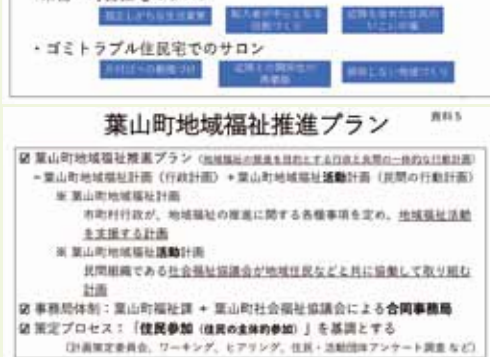
行政にできない領域
「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3支援を一体的に実施し、社協が地域支援のプラットフォーム機能を担いながら、個別ニーズ、地域課題の状況に応じた柔軟な支援を実施する役割を担っていく旨、説明がありました。

個別支援と地域支援の一体的支援
個々のケースに対して断らない相談支援と、継続的解決に向けて伴走する支援を提供し、その上で専門職、行政等がチームワークで当たる支援や、地域ぐるみで支援方法を創造する支援を提供する仕組みについて説明がありました。

個別ニーズと地域ニーズを結び付けた支援
「失語症者会話カフェ」「男の料理サロン」「県営・町営住宅のサロン」などのサロン

5. 個別ニーズと地域ニーズを結び付けた支援の例

・失語症者会話カフェ	・男の料理サロン	・県営・町営住宅のサロン	・ゴミトラブル住民宅でのサロン
------------	----------	--------------	-----------------



社会福祉協議会資料

形式の集まりを実施し、一定の地域で生じる問題を地域住民等が自主的・主体的に解決できるような支援する取り組みが紹介されました。

地域福祉推進プラン
行政が担当する葉山町地域福祉計画と社協が担当する地域福祉活動計画を合わせた、地域福祉推進プランについて概要説明があり、各項目について活発な意見交換が行われました。

社協は町の福祉活動の実施主体であり、議会としては積極的にバックアップできるよう、今後も定期的に意見交換会を実施していきたいと考えています。

表紙説明

4月6日、満開の桜に出迎えられる、町立小中学校の入学式が行われました。表紙は、葉山小学校の新入生のご家族です。今年の新1年生は小学校303人、中学校275人です。
花の木公園では、青空の下、葉山保育園の子どもたちが元気に遊んでいました。



葉山小学校入学式



入場する新入生



葉山保育園の子どもたち

町長行政報告

第1回臨時会

1月11日現在の新型コロナウイルス感染症は、累計感染者数370人、救急搬送は59件。

ワクチン接種は新規感染者数が増加傾向にあることから、1月17日から町内の医療機関にて3回目の接種を順次開始できることとなりました。

第1回定例会

2月9日現在の新型コロナウイルス感染症は、累計感染者数は821人、湘南国際村センターにおける軽症感染者等の受入者数は4人。
3回目ワクチン接種は、2月6日現在で65才以上の対象者の約22%が終了しました。

次回定例会は...

6/2-6/17 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会	議会運営委員会
6/2 (木)	6/14 (火)	6/3 (金)	6/8 (水)
6/16 (木)	6/15 (水)	6/6 (月)	
	6/16 (木)	6/7 (火)	

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を調整・制限させていただいております。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継は、スマートフォン、タブレットでも視聴できます。



視聴はこちら



伊東圭介議員が、神奈川県町村議会議長会の会長を務めた功績により、令和4年2月8日、全国町村議会議長会並びに関東町村議会議長会から、自治功労者表彰を受賞しました。

録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記

令和4年第1回定例会は、まん延防止等重点措置期間中ではありましたが、感染拡大防止対策をしっかりと行い、無事終了することができました。

さて、葉山町では、令和3年5月8日に栃木県那須町と、令和4年1月14日には、静岡県下田市と御用邸所在地友好都市協定の締結を行いました。皇室をきっかけとして市、町との関係が深まることは歴史に残ることがらではないかと思えます。

4月のある日に、葉山町において、朝から夕方までもものしい訓練が行われました。空にはヘリコプター、街角や交差点には制服の警察官や私服の若手機動隊員。町民の方なら、すぐにピンとくるでしょう。令和2年3月以来のご静養になるかもしれません。全国に御用邸は3カ所しかないのです、今後とも那須町と下田市とは、その価値を共有して、発展していくことを期待します。

4月7日 荒井直彦 記

議長	待寺 真司
議会広報常任委員会	
飯山 直樹	鈴木 道子
山田 由美	金崎 ひさ
荒井 直彦	土佐 洋子
窪田 美樹	

●議会だより147号9ページを次のように訂正いたします。1段目の議員懇談会の見出し内、【誤】町長召集により開催 【正】町長召集により開催 皆さまには、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。